



小野田由紀子 議員

予防接種事業について

問 B型肝炎ワクチン定期予防接種事業の内容について。

答 ・本年10月より、定期接種が始まります。
・本6月議会に接種費用補正予算を計上。対象者は生後1歳までの者。

問 3歳児までの公費助成事業の実施は。

答 ・今後も定期接種が予想され、財源が必要となる。
・健康被害が発生したときの救済制度の担保が必要であり、予防接種の規定運用とする。

災害時の避難所の環境整備について

問 現在のマンホールトイレの整備状況は。

答 ・本年3月末現在での数は28基。

問 避難所における、マンホールトイレの計画的な整備について。

答 ・高浜小学校に5基のトイレ整備。
・吉浜小学校は平成33年以降、高取小学校は平

成30年の整備を予定。

男女共同参画社会の推進について

問 本市における男女共同参画社会の進捗状況について。

答 ・審議会等に占める女性委員の割合は24.8%。
・地域活動に参加した市民59.2%。内、女性60.3%。
・町内会役員に占める女性6名、9.8%。防災会議における女性委員の登用2名。
・教員では管理職が21.4%と、目標値を達成。
・児童会、生徒会役員に占める割合は59.5%と、年々増加。
・本年3月「高浜市女性活躍推進特定事業主行動計画」を策定した。

問 「女性活躍推進計画書」の策定と、今後の取り組みについて。

答 ・女性活躍推進計画の策定を、今年度着手したい。内容は、多様なライフスタイルに応じて働くことができる環境づくり、ワークライフバランスの推進に関する意識啓発。
・起業、就業支援、キャリアアップ、各種制度や相談窓口に関する情報の提供など。



黒川美克 議員

地震災害対策について

問 夜間発生時の地震災害対応・対策について。

答 時間帯別の建物被害では冬の夕方6時。人的被害では冬の深夜5時が、最も被害が甚大になると想定されている。この高浜市地震防災マップでも、

被害予測を冬の夕方6時としている。高浜市危機管理マニュアルで職員の初動態勢は、地震災害では本市に震度4の地震が発生した時は市長、副市長、教育長、全部長、防災担当職員が。また、震度5弱の地震では、主査以上の職員及び都市政策部の全職員が。震度5強以上の地震では、全職員を登庁としている。

問 災害時の復興について。

答 災害復旧は、道路、上下水道、河川等で原形復旧を基本に、改良復旧や関連事業を取り入れて行う。災害状況に応じた他公的機関の支援を受け、対応する。応急仮設住宅の建設は、災害の程度によって違い、本市では地震等により

60世帯を超える住宅等が滅失した場合や、震度6弱以上を記録して災害救助法が適用された時に、県知事の指示で建設する。建設費用の限度額は、1戸当たり平均266万円以内で平均29.7㎡を基準とし、集会施設は概ね50戸に1施設が設置可能となる。着工時期は災害発生から20日以内。着工から完成までの工期は、過去の災害から3～4週間程度が標準といわれている。

問 高浜市地震防災マップについて。

答 図書館付近が津波の浸水地域になっていないのは、地域の標高が約3mあり、港小学校周辺より50cmから1mほど高いからである。このマップは、南海トラフ巨大地震の被害想定に基づき作成されており、世帯配布のほか、町内会防災訓練説明会、子ども防災リーダー養成講座を始め、各種防災行事等で職員等が説明し、市民一人ひとりの意識向上に役立てている。特に大津波警報等発令時における内陸部への避難、地震防災マップの末尾にある、わが家の防災メモの記入、食糧や飲料水等の備蓄、猿投・高浜断層に関する説明などで、災害時の自助・共助の大切さもお伝えしている。今後も様々な機会を活用して啓発等を実施したい。